



G20 に向けて女性に関する政策提言を行う G20 公式エンゲージメント・グループ「女性 20 (W20)」は、2019 年、「Closing the Gender Gap for New Prosperity」をテーマに掲げて活動。G20 ブエノスアイレス首脳宣言に謳われた「ジェンダー平等は、経済成長及び公正で持続可能な発展のために極めて重要である」とする声明を全面的に支持し、G20 の首脳に以下の提言の実施を要請するコミュニケ（共同声明）を、2019 年 3 月 23 日に安倍晋三内閣総理大臣に手交しました。

【2019 年 W20 コミュニケ(共同声明)の骨子と説明】

1. 労働もしくは雇用大臣に対し、2025 年までに労働参加率における男女格差を 25%減らすという 2014 年のブリスベン・コミットメントに関する中間報告を、2020 年の G20 において提示するよう要請する。

労働市場参加率における男女格差の主な原因には、ジェンダーに関する社会規範に基づく慣行、それに伴う女性の職業意識啓発や教育・訓練、就業時間等の制約などが含まれる。これらは賃金、年金、その他の所得を含む収入における男女格差と無関係ではない。さらに、職場における暴力・ハラスメントは女性の職業選択における関心事として重要性を増している。女性の労働参加を促進するためには、法的・社会的な障壁を取り除き、労働参加に必要な教育・訓練への平等なアクセス及び性別に固定されないケアワークの分配を可能にするインフラ整備が不可欠である。G20 による中間報告では、労働参加率の男女格差について、促進及び促進阻害要因が明示され、指標による進捗の確認ができるよう期待する。

2. デジタルにおけるジェンダー格差の解消とジェンダー・ステレオタイプと無意識のバイアスを無くすためジェンダー平等に関する学校や職場での教育や生涯教育を推進する。

デジタル化社会における男女の平等な社会参画に不可欠な全ての世代の女性に向けた科学、技術、工学、アーツ、数学領域 (STEAM) への平等な参画を後押しするとともに、デジタル技術のデザインと開発における女性の平等な参画を推進することで、人工知能 (AI) の使用にかかわるジェンダー差別の増幅を防ぐ。

3. 女性起業家を含む女性が主導・所有するビジネスを強化する。

女性の金融アクセスの保障、女性による起業の促進、女性の投資とマーケットへのアクセスを加速化させるとともに、投資家の意思決定にジェンダー要素が導入されるようなインセンティブを構築する。

コミュニケ及びメニュー・オブ・アクション（コミュニケの提言内容に沿って提示された具体的な行動事例集）は以下のリンクから見るすることができます。

コミュニケ（日本語）：https://w20japan.org/pdf/w20_communique_jp.pdf

メニュー・オブ・アクション（英語のみ）：https://w20japan.org/pdf/W20_MoA.pdf

